



有玉幼稚園の紹介

◆教育目標

自分らしく輝き 夢中になって遊ぶ子

日々の様子をブログで公開しています

◆幼児像

あかるく II 人とかかわる力	りりしく III 身近なものや出来事とかかわる力	たくましく I 自分のことを自分でする力	まいにち元気な 有玉っ子
・あいさつや返事をする子 ・思いを伝えたり聞いたりする子 ・最後まで頑張る子	・考えたり工夫したりする子 ・自分なりに表現することを楽しむ子	・生活習慣が身に付いた子 ・戸外で元気に遊ぶ子	

◆こんな保育や体験を大切にしています

I II IIIは浜松市幼児教育の指針である「幼児期に育てたい力」です。

・子供が「やった」「できた」と満足感のもてる保育

一人一人が「やってみたい!」と、わくわくしながら主体的に関わりじっくりたっぷり遊ぶことができるような環境を工夫し、個に応じた援助に努めています。また、友達と関わる中で、思いを言葉で伝え合い、仲間と考えたり相談したりしながら遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

・多様な運動遊びを生かした保育

運動機能の発達に合わせた身体の各部を使った遊びや集団遊びを計画的に取り入れ、楽しく遊びながらよく動く丈夫な体づくりや頑張ってみようとする気持ちづくりをしていきます。また、友達からの刺激を意欲や自信につなげ、互いのよさや頑張りを認め合えるようにしていきます。

・地域の人や自然、文化に触れる体験

有玉神社祭典参加、獅子舞見学、お茶会、園外散歩等、地域の人や自然、文化に触れる体験を大切に取り入れていきます。地域の人々の温かさを実感し、地域への親しみや感謝の気持ちを育てていきます。



幼児期は、遊びながら学んでいく時期です。幼稚園では、遊びは幼児期にふさわしい学びと捉え小学校以降の生活や学習の基盤を育成し、これからの社会をよりよく生き抜いていくための土台となる力を育てていきます。

たとえば、**道徳性の発達には、遊びが大きな意味をもつ**のです。人として必要な思いやりの心、相手の気持ちなど、目に見えないことを考慮できるようになるには、教え込んでも身に付きません。遊びの中で、様々な感動やいざこざ、葛藤を味わうからこそ育まれていくのです。また、「楽しい」「またやりたい」「友達大好き」「自分のことも好き」「よーし頑張るぞ」「できた」「またやってみよう」「失敗した」「でも、もう一度やってみよう」「できた! 失敗してもいいんだ」...様々な体験が**自己肯定感の育ち**につながります。子供が主体的に関わる直接体験を通して、生きる力が育っていきます。幼稚園と家庭が手を取り合い、子供たち一人一人の良さや可能性を伸ばすことができるようにしていきたいと思っています。

※裏もご覧ください